

## 第5章第1節

### 「土石流と溪流の形成」



左 岸辺に残された河岸段丘の上面には木々が生い茂り、砂ばかりの斜面からは石や岩が露出し、或いは河川敷に転げ落ちています。

右 谷間の中央を流れる水流の周囲には、大きな石や岩が多くあります。

### 「段丘と土石流」



\* 安倍川大河内堰堤下流

\* 砂防堰堤の下流側の河床の低下が著しいので姿を現した、昔から残されて来た大量の土砂流下と堆積の跡。

\* 上段はほぼ水平で、大小の木々は様々な種類があり、幾世代かの更新があったものと考えられます。大量の土砂は、土、砂、石、岩で不規則に堆積しています。

## 「奇妙な段丘」



- \* 大きな屈曲地の内側には幾段かの段丘が残されていました。
- \* 最上段は松林となり、それ以下の段丘にも植物が成長し始めています。



- \* 奇妙な段丘。
- \* ほとんど砂ばかりの段丘と上段の大きな流木。

## 「奇妙な段丘が出来た訳」



- \* 奇妙な段丘の少し上流にある崩壊斜面の跡です。

## 第5章第2節 「ダムの放流、第四の問題 取水堰からの放流」



- \* 上流に取水堰がある水流で、幾つかある砂防堰堤の間で見られる光景。

## 第 6 章 第 1 節

### 「安倍川」から「三保半島」へと続く砂礫浜海岸」



\* 安倍川河口周辺で普通に見る大きな石。投げ竿やリールの大きさと比較して下さい。

## 第 6 章 第 2 節

### 「砂浜が形成される第 2 の過程」



\* 安倍川河口風力発電機前では海底が浅くなっているため、岸から離れた遠くから幾重にか波が発生しています。この時、他の場所の岸辺では岸のすぐそばで一つの波しか発生していません。

\* 右側の画像中央にはサーファーの姿が小さく見えます。

### 「砂浜が形成される第3の過程」



\* 渚近くの海底の土砂を東に移動させている波。この場所では、岸辺近くで一重の波が南西から北東に向かって順次立ち上がり崩れています。

\* この日、沖縄の東に台風がありました。



\* 三保海岸の渚に斜交して押し寄せる波。遠方に見えるのは伊豆半島。いずれも2011年1月の写真です。

\* 左側 三保羽衣の松の前の渚にて。

\* 右側 三保の突端の真崎灯台近くの渚で見た、ごく小さな波。

## 第 6 章 第 3 節

### 「安倍川と静岡の前浜の現状」



\* 久能山東照宮の前の浜辺から西方向を写した 2 枚の写真。

左側 2011 年 1 月と、右側 2018 年 6 月の様子。

\* 過去に大量の土砂を運び込んでいるので、堆積した土砂の全てが渚を移動して来たとは言えませんが、三保に至るほぼ中間地点のこの付近まで明らかな回復傾向を見せています。